

## 2014 チャンピオンシップトーナメント ファイナル戦

※この大会は、サンクチュアリ・千早川・平谷湖の各釣り場で年間ポイントランキング上位10名の方のみ参加資格があります。ご自分の順位をサンクチュアリHP内でご確認の上、該当される方は、出場・欠場に係わらず、必ず期限内にエントリーして下さい。出場者が、各釣り場において10名に満たない場合は、順次繰り上げとなります。その場合は、該当者の方に改めてこちらからご連絡致します。

日時 : 2014年9月28日(日)  
場所 : 第3ポンド(貸切)  
受付 : 6:00 ~ 6:30 (当日は直接第3ポンドへお越し下さい)  
定員 : 30名  
料金 : 大会参加費 6500円  
(男女子供一律。各割引はなし。但し会員割はあり)  
BBQ参加費 1500円(お肉・おにぎり・その他)  
エントリー期間 : 8月28日(木)夜20時~9月4日(木)夜8時まで  
サンクチュアリHP内エントリーフォーム及び  
メルマガ内エントリーフォームより。  
千早川・平谷湖から出場される方も、こちらへエントリー  
下さい。

優勝者には、スタジオ・ミネギシ様よりオリジナル・チャンピオンロッドを特別製作して頂き、贈呈致します!  
その他、多数賞品あり!

※BBQに参加されない方は、エントリーの際、コメント欄にその旨お書き下さい。

※大会終了後の釣りはPM16:30までとなります。

※受付は、昨年と違い、先着順で行います。

また、予選のスタートエリアは、前半・後半も全てくじ引きにより決定致します。

速やかに受付を済ませて頂き、その後、タックルをご準備下さい。

※当日は、第3ポンドを貸切で行いますので、大会に参加されない方は、ご利用頂けません。申し訳ありませんが、予めご了承下さい。

## 2014チャンピオンシップトーナメント・ファイナル戦〈大会レギュレーション〉

### 〈大会レギュレーション〉

- ・エントリーは、サンクチュアリHP・現地・メルマガからの受付とします。

#### キャンセルについて

- ・キャンセルは大会前日 PM17:00 までをお願いします。(キャンセルはメール・TEL でも OK です。)
- ・ドタキャンは次2大会出場不可となります。
- ・キャンセル待ちの方が当日お越し頂いている場合、出場資格はキャンセル待ち番号順となります。(先着順ではありません。)
- ・キャンセル待ちの方は、受付終了時間までにお越し下さい。

#### 遅刻について

- ・「受付時間内に連絡のない遅刻」はキャンセル扱いとなります。
- ・「受付時間内に連絡があった遅刻」の場合は競技時間中でも到着次第競技に参加できます。

#### 大会ルール

- ・安全のため、サングラス、又はメガネおよび帽子は各自用意の上、必ず着用の事。(不着用の場合、大会には参加できません。)
- ・大会使用ルアーは、市販されている鉄板素材のスプーンとリップ付きのプラグのみとします。現在開発中の物、販売されていない物、自作の物は使用不可となります。(判定が不可能な物に対しては、当日スタッフに確認下さい。)
- ・大会に使用する市販ルアーへの改造は禁止します。但し下記の変更は許可する。
  - \* 大会レギュレーションに違反しない改造行為。
  - \* シングルバーブレスフックへの変更。
  - \* カラー変更及びシール貼り付けは可能。
  - \* ミノー及びプラグのフック変更により、ウエイトバランス・アイ調整(ボディへの形状変更は不可とします)
- ・スプーンのサイズはブレード長18mm以上3gまでとする。
- ・プラグのサイズは、ボディ長20mm～70mmまでとする。
- ・大会で使用するフックは全てシングルバーブレスに限定する。(バーブを潰したフックも使用禁止とする。)
- ・フック数は一つのスプーンに最大1つまでとする。
- ・フック・スプリットリングカラーはゴールド・シルバー・黒とする。

- ・赤いスレッドやケームライトなどを塗ったカラーフックも禁止とする。
- ・竿の長さは7フィートまで、竿の持ち込みは、5本までとする。
- ・リールへの規制は現在のところなし。
- ・ラインへの規制は現在のところなし。
- ・ラバーネットは全長140センチまで、網の部分直径60センチまでとする。
- ・スプーン2枚重ねは禁止とする。
- ・スプーン・フロントフックセットは禁止とする。
- ・表層でルアーを停止させる釣り方は禁止とする。

### 取り込みの判定

- ・大会中に魚を陸に上げてしまった場合、行為的又は行為的じゃなくてもその魚は釣果数には含まない。（上記の様な行為があった場合、審判はその場で選手に伝えてください。）
- ・スレ掛かりはカウントしない。ただし、フックがエラブタより前に掛かっている場合は、アタックしたとみなし、OKとする。
- ・必ずラバーネットを使用すること。
- ・カウント基準は、ネットのフレームを通過した時点で1匹と判定する。
- ・審判は、ネットに魚が入ったのを確認したら「〇〇さん OK です！」と、選手に伝えること。
- ・ネット内で魚を回したり、魚を行為的に弱らせるような取り込みリリースは禁止とする。
- ・時間内に掛かった魚は、終了コール後でもネットインすればOKとする。ただし、ローテーション中も時計は止めないので、速やかに取り込みを行い、移動する事。

### マナー&義務事項


- ・選手は開会式・表彰式には必ず参加すること。
- ・スコアカードは各自で管理し、決勝戦終了後必ずスタッフに提出すること。
- ・スコアカードをスタッフへ提出する前に、必ず選手と審判の間で匹数及びポイントを確認しておく事。提出後の訂正及び苦情は、一切受け付けません。
- ・フックをはずす際は可能な限り魚に触れないようにすること。
- ・事故防止の為、大会中の飲酒は禁止とする。
- ・競技中及び審判中の釣り座での喫煙は禁止とする。  
(休憩時間・待機時間は、喫煙場所でのみOKとする。)
- ・競技時間中に観戦者が競技者へのアシスト（助言・タックルに触れるなど）は禁止とする。  
また、釣り座へのイスの持ち込みは禁止とする。  
(ハンディキャップのある方は、事前に事務局長・小川までご連絡下さい。TEL 0594-46-8820)

- ・各ローテ時に、釣り座を移動する際は、必ず1度で荷物を移動させること。
- ・大会中レギュレーション違反の疑い等を発見した場合は、誤解や見間違い等の可能性もありますので、選手間での話し合いは避け、必ずスタッフまで申し出て下さい。









## 〈大会進行〉

予選 24分（12分+12分）×5ローテ ポイント制

### 休憩場

予選は  で区切られた、8のエリアに分かれます。



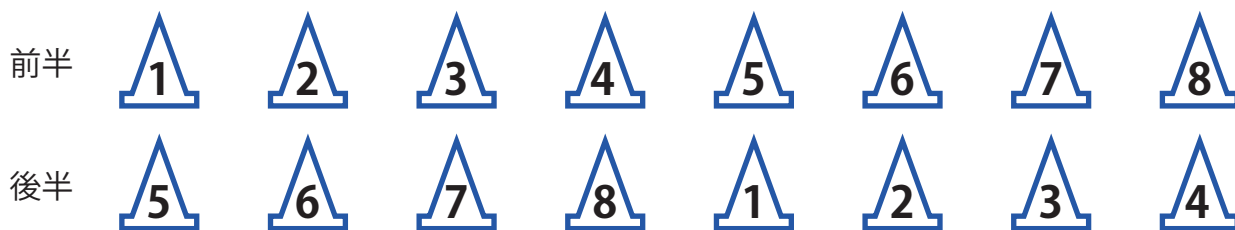
- ・予選は、受付時に引いてもらったくじの番号の釣り座に入り、対戦相手を替えながら、マンツーマンで5回の対戦を行います。  
1回の対戦時間は24分とし、12分経過後、左右釣座を入れ替えます。  
移動時間中も時計は止めないので、移動し終わったらそのまま速やかに釣りを続行して下さい。
- ・1戦終了ごとに、Aの方は  ⇒  ⇒  ⇒  と数字が大きくなる方向に1つとびにエリアを移動します。  
Bの方は  ⇒  ⇒  ⇒  と数字が小さくなる方向に2つとびにエリアを移動します。
- ・24分終了後、匹数が多い方を勝ちとします。  
(同匹数は引き分け。ただし、両者共0匹の場合は両者共負け0点となります。)  
\*勝ち 3点 \*引き分け (両者同匹数の場合) 1点 \*両者0匹の場合 0点 \*負け 0点
- ・5回のポイント合計の上位8名が準決勝進出となります。 30人⇒8人
- ・予選落ちの方の中から、準決勝戦の審判を選ばせて頂きます。(釣果の低い順)
- ・放流は、前日と3ローテ後半が始まる前に行います。
- ・前半組16名、後半組14名で対戦するので、後半組の方は、2～8エリアを使います。

準決勝 24分（12分×2ローテ） 8名

休憩場



- ・予選でポイントの高かった方から入場場所を選びます。（同ポイントの場合はくじ引き）
- ・前半12分終了後、左右釣座を4名ずつ入れ替えます。（例12345678→56781234）



移動中は時計は止めます。スタートコールがあるまで釣りはストップして下さい。

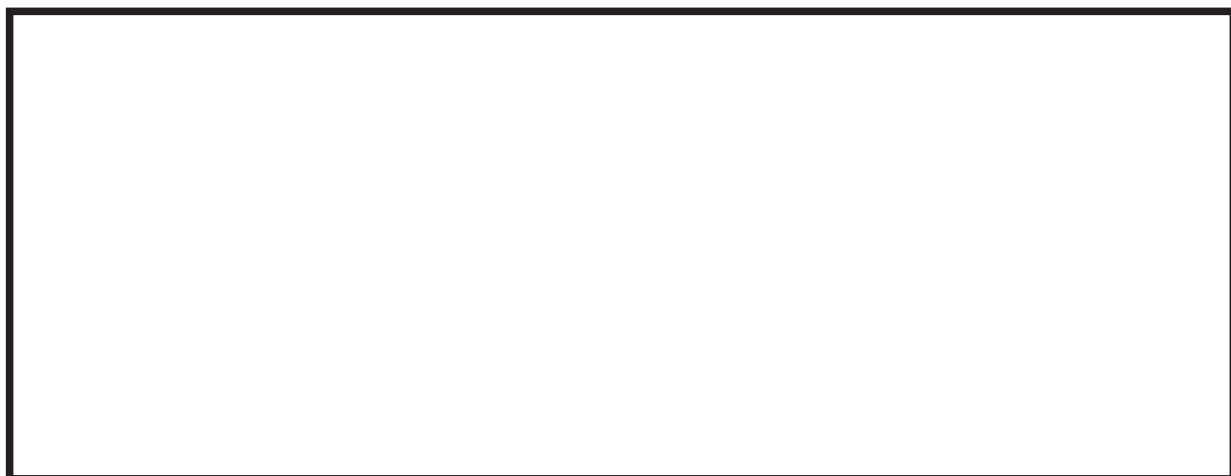
- ・前半12分・後半12分終了後、匹数が多い上位3名が決勝進出となります。

**8名⇒3名**

- ・放流はスタート前に1回入ります。

決勝 30分（10分×3ローテ） 3名

休憩場



- ・入場は、準決勝で匹数の多い方から順番に入場します。（同匹数の場合はくじ引き）
- ・10分経過後、右隣りに釣座を1つずつ移動し、3回ローテーションします。

1ローテ 釣り座



2ローテ 釣り座



3ローテ 釣り座



移動中は時計は止めます。スタートコールがあるまで釣りはストップして下さい。

- ・30分終了後、一番匹数が多い方から1位～3位までを決めます。
- ・同匹数の場合は、サドンデスマッチを行います。

（大会参加人数や状況によって大会方式が変更される場合もあります。）

大会中の状況に応じたレギュレーションの変更は主催者に帰属し、規則に関する苦情は一切受け付けないこととする。